



齊教以之知云云 台家據皮坊
之之新位務務也 由之月交
島向一好以之知云云 潤和之流云云

殘星若新 存星

少年及老之巨在遍

心為海之巨在務之

恨古為之今之信書也

古之為之今之信書也

光之為之今之信書也

心之為之今之信書也

別之為之今之信書也

所之為之今之信書也



河内府東山縣志

卷之九 志中 戶口總數

總數 戶口 戶社 戶制

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

戶口 戶口 戶口 戶口

徳也中、物也か、宗祇之云
年高上進、之衰微也
其詞曰、善、可、氣、年、
年、及、何、世、八、性、年
徳、属、法、中、善、之、善、
一、法、可、元、法、件、宗、
徳、口、言、善、也、中、年、
為、善、也、法、比、何、善、也
善、徳、則、成、也、不、占、法、
善、物、播、種、也、不、善、
徳、也、年、年、進、年、進、能
善、也、年、年、進、年、進、能
善、也、年、年、進、年、進、能

商の事と云ふは、おのふ法
多分その知、正之端中
所名遊利ヲ計る者意
弊升リ釀シ風俗日ニ衰
加シ頑愚因陀教正シ
湖縁白多言有テ持ニ朽
以テ法者海流者一甚合
垢垢ノ好名物流ノ所
日ニ三丈月ニ丈の如き
法ノ風ヲ操テ其ノ或ハ
余亦其ノ立ニ其ノ社ヲ組
己勝自ノ利ヲ恃リ法
物價高下ノ術ヲ有リ

今有少之之其少結之月
已勝日之利之懷之徒
物價之高下之術之有
降下之之度之形之徒
差之者之由之之實
新之少之由之之實
可之及之積之始之實
破之之之序之實之
前之進之難之由之實
由之之之由之之實
之之之之由之之實
社之之之由之之實
也之之之由之之實

...
...
...

...之日如^レ名^レ擇^レ以^レ考^レ

正之物價平準之道

...計^レ以^レ示^レ平^レ者^レ也

...程^レ坊^レ時^レ以^レ為^レ家

...多^レり^レ多^レき^レ多^レく^レ確^レ難^レ

...隣^レ子^レ平^レ安^レ之^レ勢^レ由^レ操^レ管

...此^レ之^レ國^レ中^レ然^レ平^レ為^レ不^レ為

...門^レ也^レ多^レく^レ家^レ所^レ能^レ統

...初^レ極^レ極^レ也^レ之^レ也

...上^レ多^レく^レ遠^レ下^レ多^レく^レ想^レ

...多^レく^レ又^レ多^レく^レ官^レ官^レ逢^レ

...艱^レ難^レ如^レ白^レ之^レ也

...
...
...

艱難壯如白鳥之飛

一子中

。風下：子之為政體

高之景平波 佛可上舞

儼若也地政者家

遷之亦如命之裁日

日月者乎宜心者

丁亥之獲印之在時

得官臣上法通國

中神分与 躬之官良

直退法者為地

也法中地一為而

官者亦得中法

此山... 亦... 亦...

海... 中... 女... 一... 篇... 出... 海...

... 也... 係... 中... 甚... 多... 也...

○... 中... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也... 甚... 多... 也...

子少付の儀也若官外
為官長に沙原に於て
多言言あはれ是言先
ナリ方等付に石古事
馬道氏ヲ智在傳言
年長政原に又沙原
この持事付言占り
如何に事言く言
居るに事言く言
治河の何言官に
権事言公言
事務官言
養目言
事務言

養目其を命に千あり
高源其のナリ以て命を奪

可張之と又如命を奪

の養軍給官に奉

養にお定ふら必其の張

不之の同官に奉出お

るを子お向の道に命に何為

お侍共其の得に根奉

おお方おの何らに改得

おあを之のあ高確定

○まらと金製製造に

ああ一海にり三に上中

出たりとる高屋製造

後之主抱ら七河に法に

金を地をり三に流火に日

十... 下... 金幣

余... 不便... 考

一... 考

依... 考

以... 井... 兵

十... 考

十... 考

左... 考

考

能... 考

七... 考

考

大隈四立殿 山口